

## ホセア11:1-11 神の愛の美しさ

先週は、神がイスラエルと神を拒むすべての者に約束された罰についてお話ししました。しかし今日は、ホセア書の中で、そしておそらく旧約聖書の中でも、最も美しい箇所を紹介したいと思います。もちろん、神の御言葉には、他にも多くの美しい約束があり、ある約束は人生のある特定の時点で慰めを与えるでしょうし、別の約束は別の時点で慰めを与えるでしょう。そして今日の説教では、皆さんにこの章を通じて創造主の声の中に神の愛を見出し、ホセア11章にはっきりと輝く神の愛の美しさについて知ってほしいのです。私はこのシリーズを、不誠実な人々に対する神のゆるぎない愛と呼んできましたが、この章では、神は罪深い人々、またひいては私たちに対する揺るぎない愛を明らかにしています。また、このような愛を存在のあらゆる部分に感動を起こさせるような形で、私たちに明らかにしているのです。

ここでは、神は、彼らがエジプトで奴隷であったときのことを語ることによって、この民に対するご自身の愛を説明しています。1節を見てください。イスラエルが幼いころ、わたしは彼を愛し、エジプトからわたしの子を呼び出した。イスラエルは幼い息子として描かれています。イスラエルの国家としての歴史は、アブラハムの家族ではなく、エジプトに出て行った時から始まっており、彼らはエジプト人の圧制の下で成長し、やがて奴隷とされてしまいました。しかし、その後、神が愛をもって介入し、彼らをエジプトから連れ出し、偉大な国とされました。これは、神の子となった誰もが受けることのできる最大の愛です。神はこの民をわが子として愛されました。神がその子イスラエルに対して持つておられるこの愛は、父なる神が子なる神、イエス・キリストに対して持つておられるのと同じ愛です。ヨハネの福音書 3章35節には、<sup>35</sup> 父は御子を愛しておられ、その手にすべてをお与えになった。と述べられています。しかし、ここで重要なことは次のことです。つまり、イエス・キリストを私たちが知っているなら、私たちも神の養子であるということです。ガラテア人への手紙 4章4-5節では、<sup>4</sup> しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。<sup>5</sup> それは、律法の下にある者を贖い出すためであり、私たちが子としての身分を受け取るためでした。と書かれています。神は、イスラエルの民をエジプトの奴隷から解放したのと同じように、あなたを罪の奴隷から解放しただけではないのです。神はあなたを選び、愛しているのです。

しかし、その神の愛に対する私たちの反応は、当時のイスラエルの民がそうだったように、2節にあるようなものであることが多いのではないのでしょうか。神の子たちは自由へと招待されたが、2節では、<sup>2</sup> 彼らは、呼べば呼ぶほどますます離れて行き、もろもろのバアルにいけにえを献げて刻んだ像に犠牲を供えた。と述べられています。イスラエルの民の反応を見て、どうしてそんなことができたのだろうかと思うかもしれません。神がエジプトから奇跡的な方法で救い出してくださったのに、どうして彼らはすぐに神から離れてしまったのだろうか、かと。しかし、私たちが同じことをしているのではないのでしょうか？あらゆる罪の根底にあるのは偶像礼拝です。私たちは神よりも他のものを優先させ、たとえわずかな時間であっても、神以外のものや人、そして自分の欲望を私たちの生活の中で優先させてしまうことがあります。その罪は、たとえ一時的であっても、私たちの父を他のもので置き換えてしまっているのです。悔い改めの一つのあり方とは、私たちの生活の中にある偶像が何であるかを見極めることであり、それは私たちが表面的に犯していると知っている罪とは異なることが多いのです。私たちが神よりも大切にしているものはおそらく当時のイスラエルの民の偶像礼拝の対象とは異なるでしょうが、しかし、それはイスラエルの民が陥った偶像礼拝と同じ罪なのです。

偶像礼拝が神の愛に対する反応として十分悪いものでないと皆さんが考えているなら、さらに3節を見てください。<sup>3</sup> このわたしがエフライムに歩くことを教え、彼らを腕に抱いたのだ。しかし、わたしが彼らを癒やしたことを彼らは知らなかった。神はイスラエルの民をエジプトの奴隷から解放しただけでなく、この幼い子に歩き方をも教えました。神は、民をただ単に解放して、この世に放り出したわけではありません。神は、彼らが神を喜ばせるために、また、神に従うために必要なものを、忍耐強く与えてくださりました。神の祝福のもとで生きる方法を示すために、十戒という律法まで用意されました。神は、イスラエルの民に、危害を加えるためにこれらのことをしたのではなく、彼らが神に対して罪を犯すことを防ぎ、彼らを守るために、十戒をお与えになったのです。ここまでしていただいたのに、イスラエルの民は、自分たちの人生における神の働きを認めませんでした。3節で

は、**わたしが彼らを癒やしたことを彼らは知らなかった**、と述べられています。歩くことを教え、食べることを教え、学校に通わせ、人生を生きるすべての術を教えた自分の子供が、自分がしたすべてのことを何も認めてくれなかったとしたら、皆さんはどう思うでしょうか。拒絶されたと感じるかもしれません。とにかく、そうなった時の苦しみは想像もできないものです。しかし、神は被造物からだけでなく、イエス・キリストを通して養子にした子どもたちからも、毎日、拒絶されています。そのため、その痛みをよく理解しておられます。私たちは、神が私たちのためにしてくださったすべてのことを認めず、日々生きているのです。

しかし、神はそのようなイスラエルの民のため、そして私たちのためにさらに多くのことをしてくださっているのです。4節を見てください。**4 わたしは人間の綱、愛の絆で彼らを引いてきた。わたしは彼らにとってあごの口籠を外す者ようになり、彼らに手を伸ばして食べさせてきた。**さらに、イスラエルの民を奴隷となっていたエジプトの地から解放し、イスラエルの地で偉大な国家となることへと導いたのです。ここに、神の民に対する優しい愛と配慮が示されています。詩篇23篇にも、神の民に対する配慮と愛が示されています。詩篇 23章1—3節には、「**主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させいこいのみぎわに伴われます。主は私のたましいを生き返らせ御名のゆえに私を義の道に導かれます。**」と書かれています。神の導きは常に私たちを良い道へと誘ってくださります。イスラエルの民のために、神は奴隷という比喩的なくびきを緩め、彼らに食べるものを与えてくださいました。奴隷の縄やくびきではなく、神の優しさと愛の縄で彼らを包んでくれました。そして、詩篇23篇を適用するとき、私たちは、神の導きが、緑の牧場で休息と栄養をもたらし、静かな水のほとりで私たちの魂をリフレッシュさせ、義の道を歩む神に従って、私たちの人生に道徳的な選択をもたらすことを理解することができます。神の愛の抱擁、私たちに対する優しさや恵みは、私たちを束縛するものではなく、義の道を歩むために私たちを解放するものなのです。

では、神が私を罪のくびきから解放したという事実は、神が私たちの罪を見過ごすことを意味するのでしょうか？まだ皆さんの中で明らかでないのであれば、答えははっきりと「ノー」であることを申し上げます。もし、親が、幼い子供が交通ルールを無視して、道路に飛び出すのを止めようとしなければ、それは愛から出た行動であると言えるでしょうか？もちろんそうではないでしょう。もし私が親として、子供が他の文化を尊重しない態度をとることを許すなら、例えば、日本において、玄関で靴を脱がずに友人の家に上がるようなことを許すなら、それは私の子供に文化を尊重することを教えていないという点で、私の子に愛を示したことにはならないし、友人に対しても愛を示したことにはならないでしょう。子供が成長し、ティーンエイジャーになるにつれ、多くの親が、子供が反抗するのは当たり前だと思っていますが、私は、子供の反抗を常に許してしまうのは、愛情に欠ける行為であると考えています。箴言 13章24節には、**むちを控える者は自分の子を憎む者。子を愛する者は努めてこれを懲らしめる**、と書かれています。箴言は、鞭打てと言っているわけでも、必ずしも叩くことが必要だと言っているわけでもありません。しかし、すべての子どもには、間違った行動を正すための愛情あるしつけが必要であると主張しているのです。これは、神がご自分の民に対する愛を示すためになさることなのです。5—7節を見てください。**5 彼はエジプトの地には帰らない。アッシリアが彼の王となる。彼らがわたしに立ち返ることを拒んだからだ。6 剣は、その町々に対して荒れ狂い、かんぬきの取っ手を打ち砕き、彼らのはかりごとのゆえに、町々を食い尽くす。7 わたしの民は頑なにわたしに背いている。いと高き方に呼ばれても、ともにあがめようとはしない。**神の愛は、これまでの10章ですでに約束した罰を差し控えるという意味ではないのです。神は約束された罰を必ず下されます。イスラエルの民は、エジプトに再び連れ戻されることはありませんでしたが、アッシリアに占領され、町々を破壊されたのです。神の愛をその神聖さと切り離して考えることはできないのです。神にとって、罪を見過ごすことが、愛ではありません。罪は必ず罰せられなければならないのです。この真実の中にこそ私たちは希望を見出すことができます。なぜならば、神は愛であるからです。この箇所では、私たちは、罪深い人間が聖なる神と和解するための解決策を神ご自身が与えてくださることに確信を持つことができるのです。

神が、憐れみを示し、赦しへの道を私たちに備えてくださるのは、罪に対する正しい怒りを示しながらも、愛の行動をとられるからです。8節を見ると、神が私たちの罪を罰するとき、親としてどのような気持ちになるかを理解することができます。**8 エフライムよ。わたしはどうしてあなたを引き**

渡すことができるだろうか。イスラエルよ。どうしてあなたを見捨てることができるだろうか。どうしてあなたをアデマのように引き渡すことができるだろうか。どうしてあなたをツェボイムのようにすることができるだろうか。わたしの心はわたしのうちで沸き返り、わたしはあわれみで胸が熱くなっている。これらの人々を罰することは、神に栄光をもたらすことはあっても、神に喜びをもたらすことではないのです。神の心は、罰するに値する罪を犯したイスラエルの民に対して罰を与えている時においても、イスラエル国民に対する憐れみに心を動かされており、神はその場においても罰したくないと考えていらっしゃるのです。もちろん、神は、罪深い私たちと同じように感情に流されることはないので、人間の感情を神の心に置き換えて、理解することはできません。しかし、神はその心を私たちに明らかにしてくださっているのです。アデマとツェボイムは、創世記でソドムとゴモラとともに罪のために滅ぼされた2つの都市です。滅ぼされた人々は神の民ではなかったが、これらの民に罰を与えなければならないことに神は非常に心を痛め、神の民に対する憐れみと愛によって、その罰は緩和され、その影響が及ぶ範囲が制限されたのです。9節では次のように続けられています。<sup>9</sup> **わたしは怒りを燃やして再びエフライムを滅ぼすことはしない。わたしは神であって、人ではなく、あなたがたのうちにいる聖なる者だ。わたしは町に入ることはしない。**神は、アデマとツェボイムを滅ぼされたようには、イスラエルの民に対する怒りを実行されませんでした。では、なぜ、神はある者は救い、ある者は滅ぼされるのでしょうか？その答えは、「**わたしは神であって、人ではなく**」と書かれた部分にあります。ここで問われるべき質問は、なぜ神はすべての人を救わないのかという質問ではなく、なぜ神は罪深い人間を救うのか、そしてなぜ神は私を救うことを選ばれたのか、という質問なのです。イスラエルは他の町々と同じように滅ぼされて当然であったのですが、神は憐れみを示されたのです。それでも決して神の聖性を犯されることはなく、彼らの前でも聖なるままであり続けました。また、神は、その罰を与えている時も、民から離れることはありませんでした。いつか神は、イスラエルの民だけでなく世界への贈り物として、聖なる者をこの世に連れて来てくださります。9節は、イエス・キリストが私たち人間の中であって、まさに聖なる方であるという真理を描いています。イエス・キリストは神であることを捨てて、この地上にこられたのです。イエス・キリストが来られたのは怒りのためではなく、神が救いのために選んだ人々を赦すために、ご自分の命を差し出すためでした。イエス・キリストが十字架にかかってくださったからこそ、神が私たちに救いを選び、定め、召されたとき、それに応答することができるのです。私たちが救いに選ばれるために、何かしたとか、それに値するとかということではないのです。この聖なる方、イエス・キリストが、完全に正しい罪のない人生をこの地上で送り、十字架の上で死に、神の怒りをすべて一身に背負ってくださったからこそ、救いに預かることができるのです。私たちはこれを神学用語で「宥め (propitiation)」と呼んでいます。これは平たく言えば、イエスが自ら罰を受けることによって神の怒りの矛先を私たちから遠ざけてくださったことを意味します。ローマ人への手紙3章23節を皆さんはよくご存知だと思いますが、このローマ人への手紙3章23節から25節の全文を見ていきましょう。<sup>23</sup> **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、<sup>24</sup> 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。<sup>25</sup> 神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めのささげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。**神は、御子、イエス・キリストが私たちのために血を流して死に、私たちの罪の罰を受けたので、私たちの罪を過ぎこす、すなわち赦すことができるのです。

神ご自身の行為によって神の怒りが脇に置かれたという真実によって、私たちは神の愛を完全に経験することができるのです。私たちの罪に対する怒りを脇に置かれたからこそ、罪人であっても、完全に聖なる神に近づくことができるのです。10節と11節に書かれたものが、神の民イスラエル、そして私たちを含むすべての神の未来の民に対する、将来の神の反応なのです。最後の2節を見てください。<sup>10</sup> **彼らは主の後について行く。主は獅子のようにほえる。まことに主がほえると、子らは西から震えながらやって来る。<sup>11</sup> 鳥のようにエジプトから、鳩のようにアッシリアの地から、彼らは震えながらやって来る。わたしは彼らを自分たちの家に住ませよう。——主のことば。**このイスラエルの民のバビロン捕囚は永遠に続いたわけではありません。神はその愛と憐れみのゆえに、ご自分の民を永久にイスラエルの地から追放することに耐えられませんでした。やがてイスラエルの民はイスラエルの地に、旧約聖書のエズラ記やネヘミヤ記に書かれているように、帰っていきます。イスラエルの民が神の帰還の呼びかけに応えたように、私たちも神の御業と神の救いの呼びかけに応えるべきなの

です。しかし、イスラエルの民がどのように応えたかに注目してください。彼らは鳩のように震えて、応えたのです。神の民に対する神の力強い呼びかけに対する私たちの応答は、謙虚に従うことなのです。神は私たちを愛すべき理由は何もないのです。むしろ、神は、私たちが神に対して犯した罪ゆえに、私たちを罰すべきなのです。では、なぜ神は私たちのためにこのようなことをしてくださるのでしょうか？神はどのようにして、私たちを腕に抱き、癒し、愛で包んでくださるのでしょうか？私たちの罪の深さと大きさを考えた時、どのようにしてこのようなことをしてくださるのでしょうか？

マタイによる福音書2章13節から15節に、ホセアのこの箇所からの引用があります。<sup>13</sup> 彼らが帰って行くと、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って幼子とその母を連れてエジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」<sup>14</sup> そこでヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに逃れ、<sup>15</sup> ヘロデが死ぬまでそこにいた。これは、主が預言者を通して、「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した」と語られたことが成就するためであった。と書かれています。「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した」と書かれているこの短い引用は、神の愛の真の美しさを私たちに示しています。神の愛の深さは、イエス・キリストという人物の中に現れているのです。パッとこの箇所を見ただけでは、神がイスラエルの民をエジプトから呼び出したというホセア書の記述と、マタイがイエス・キリストについて語っている新約聖書との関連性を見出すのは難しいかもしれません。しかし、マタイの福音書の全体的なテーマを見ると、彼はユダヤ人にイエス・キリストこそが新しい、より優れたイスラエルであることを示しているのです。マタイは、イスラエルの物語を再度、語ることによって、イスラエルの物語の主役として存在しているのは、イエスであることを語っています。子なる神としてのイエスは、イスラエルの民とともにずっとそこにおられ、イスラエルという国の歴史、イスラエルの物語のすべてが、より優れたイスラエル、メシアであるイエス・キリストご自身へとつながっていることを示しています。イエス・キリストは、神の驚くべき愛の完全な結晶なのです。ヨハネの福音書 3章16節では、<sup>16</sup> 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである、と述べられている通りです。

私たちは皆、認めようと認めまいと、多くの罪を犯してきており、私たちは創造主を拒否し、偶像を崇拜してきました。私たちは自分たちがどれほど失敗したかを理解できないほど、たくさんの罪を犯しています。しかし、神はあなたに呼びかけ、あなたの罪の赦しを与え続けているのです。ここにこの世で最も偉大な愛を見ることができるとのことです。もし、今日、あなたがイエス・キリストを主であり救い主として受け入れていないなら、あなたはまだ罪に対する神の怒りを受けなければならないのです。しかし、神は、あなたを子として受け入れる用意があり、神のもとに来て、あなたを完全に赦すことができると、大声で呼びかけておられます。そして、イエス・キリストを救い主として受け入れている私たちにとっても、このメッセージは大切なものです。私たちは、イエスを受け入れたからといって、突然、神の愛を拒むことをやめたわけではないのです。イスラエルの民のように、私たちの人生に起こるすべてのことは、神が私たちが愛してくださった結果であることを理解する必要があります。罪に対する罰であれ、単なる苦難であれ、神に栄光を帰すために、神はすべてのことを用いておられるのです。今日、あなたは自分自身に福音を言い聞かせる必要があるのかもしれませんが。つまり、キリストに従う者として、神はあなたをご自分の子どもと呼び、その愛に包んでおられることを思い出さなければならないのです。最後に、今日の説教はこの写真で締めくくりたいと思います。もちろん、親が子供を抱きしめている写真です。これこそ、イエス・キリストに見られる神の愛の美しさと同じであることを、今日皆さんには知っていただきたいのです。必要であれば、イエス・キリストを通して神が示してくださったこの愛に感謝して応えていただきたいのです。では祈りましょう。

## Hosea 11:1-11 The Beauty of God's Love

Last week was all about the punishment that God promised to Israel and to all who reject him. But today we come to one of the most beautiful passages in Hosea and possibly in the Old Testament. Of course there are many beautiful promises in God's Word, and one will bring comfort at one point in your life while another brings comfort at another time. And church today, I want us to hear the love in our Creator's voice in this chapter, and see the beauty of God's love that shines through so clearly in Hosea 11. I've called this series, unfailing love for unfaithful people, and in this chapter, he unfolds that love for sinful people in a way that should cause us to be moved in every part our being as we see the beautiful love that God has for these people and by extension for us.

God begins explaining his love for these people by recounting their history beginning when they were slaves in Egypt. Look at verses 1. **When Israel was a child, I loved him, and out of Egypt I called my son.** Israel is pictured by a son, a young son. Israel's history as a nation rather than just a family of Abraham began in Egypt, where they grew under the oppression of the Egyptians and eventually were essentially put into slavery. But then God intervened out of love and brought them out of Egypt to become a great nation. This is the greatest love that anyone can receive, that of a child. God loved these people as his own children, his own son. This love God has for his child Israel is the same relationship God the Father has with God the Son, Jesus Christ. **John 3:35 says, 35 The Father loves the Son and has given all things into his hand.** But this is what we really need to know. We are his adopted children as well if we know Jesus Christ. **Galatians 4:4-5 says, 4 But when the fullness of time had come, God sent forth his Son, born of woman, born under the law, 5 to redeem those who were under the law, so that we might receive adoption as sons.** God has not just freed you from the enslavement of sin in the same way he freed the Israelites, he has adopted you and made you his very own child. He chose you and loves you.

But just like the people of Israel our response to that love is too often what we see in verse 2. The children of God were called to freedom, then verse 2 says, **<sup>2</sup>The more they were called, the more they went away; they kept sacrificing to the Baals and burning offerings to idols.** It's easy to look at Israel and think how could they do that? How could they walk away from God so quickly when he delivered in a miraculous way from Egypt. But don't we do the same thing? At the root of every sin is idolatry. We set other things before God, and give other things and people and desires first place in our life, even if only for a small amount of time. That sin, even if only temporarily, displaces our Father with something else. Part of repentance is figuring out what those idols in our lives are, which are many times different than the sin we know we are committing on the surface. But understand that whatever thing it is that we are valuing more than God is the same as the idolatry practiced by the nation of Israel.

And if that idolatry was not bad enough in response to God's love, look at verse 3 where we see another response to his love. **<sup>3</sup>Yet it was I who taught Ephraim to walk; I took them up by their arms, but they did not know that I healed them.** God didn't just free his child from Egyptian slavery, he then taught this young child how to walk. He didn't just shove them out into the world. This demonstrates how he patiently gave them what they needed to obey him to please him. He gave them the 10 Commandments, the law in order to show them how to live under God's blessing. He didn't do these things to harm them, but to keep them from doing things not only that were sinful against their Father, but that would actually protect them. Their response to this was that they did not even recognize his work in their lives. It says, **"they did not know that I healed them."** Can you imagine if your child who you teach to walk, teach to eat, send to school and teach to live life never even recognized all that you

had done for them. Some of you have felt that sense of rejection. I can't even imagine the pain that it causes you. But I do know that God does understand that pain as one who endures it every day from his Creation, but also from his own children many times who he adopted through Jesus Christ. We live life as if we never recognize all that God has done for us.

But God did even more for them and for us. Look at verse 4. **<sup>4</sup>I led them with cords of kindness, with the bands of love, and I became to them as one who eases the yoke on their jaws, and I bent down to them and fed them.** Again, with this leading of the people of Israel from their place of bondage in Egypt to their place of being a great nation in the land of Israel, it shows his tender love and care for his people. Think about how God's leading is described in Psalm 23, which also demonstrates his care and love for his people. **Psalm 23:1-3 says, The Lord is my shepherd; I shall not want. 2 He makes me lie down in green pastures. He leads me beside still waters. 3 He restores my soul. He leads me in paths of righteousness for his name's sake.** Notice that God's leading is always for our good. For the people of Israel, he loosened the figurative yoke of slavery from their jaws and fed them. Rather than the ropes and yoke of bondage from slavery, he wrapped them in ropes of his kindness and love. And when we apply Psalm 23, we see that his leading brings rest and nourishment in green pastures, refreshment for our souls beside still waters, and moral choices in our life as we follow him in paths of righteousness. God's embrace of love, his bands of kindness or grace towards us are not putting us in bondage, but are freeing us to walk in those paths of righteousness.

But does his love mean then that he just overlooks sin? If it hasn't been clear yet, the answer is a very clear no. If a parent allows their young child to just run into the road against traffic and doesn't try to stop them is that a loving action? Of course not! If I as a parent allow my child to disrespect others lets say in some cultural way like walking into their house and not removing their shoes in the genkan, then that is not loving towards the child who needs to be taught respect nor is it loving to the friend whose house my child is entering. As a child gets older and teenagers enter phases that many parents describe as normal in rebellion, I would say it is not loving to allow the child's rebellion to always go unpunished in some way to attempt to correct their actions. **Proverbs 13:24 says, Whoever spares the rod hates his son, but he who loves him is diligent to discipline him.** Proverbs is definitely not saying beat your child or even necessarily that spanking is required, but that every child requires loving discipline to correct wrong behavior. This is what God does to show his love for his people. Look at verses 5-7. **<sup>5</sup>They shall not<sup>[b]</sup> return to the land of Egypt, but Assyria shall be their king, because they have refused to return to me. <sup>6</sup>The sword shall rage against their cities, consume the bars of their gates, and devour them because of their own counsels. <sup>7</sup>My people are bent on turning away from me, and though they call out to the Most High, he shall not raise them up at all.** God's love does not mean he will withhold the punishment he has already promised in the previous 10 chapters. He will certainly bring the punishment he has promised. He will not send them back to Egypt again, but they will be taken over by Assyria, and have their cities destroyed. God's love cannot be disconnected from his holiness. He would not be loving to overlook sin, so it must be punished. But there is hope for us in this truth, because God is love. And we will see in this passage the solution for sinful humanity to be reconciled to a holy God that God himself provides.

The reason God will show mercy and provide a way to forgiveness is because he is operating out of a place of love even while displaying his righteous anger towards sin. As we continue in verse 8, we see what it feels like to God as a parent when he has to punish their

sin. <sup>8</sup> How can I give you up, O Ephraim? How can I hand you over, O Israel? How can I make you like Admah? How can I treat you like Zeboiim? My heart recoils within me; my compassion grows warm and tender. To punish these people does not bring God pleasure even though it does bring him glory. God's heart recoils against this need to punish their sin, and is moved with compassion towards the nation of Israel even as they are under his just punishment. Of course putting human emotions in the heart of God is always going to fall short because God is not subject in any sinful way to the same emotions as us. But God reveals to us his heart in this. Admah and Zeboiim were two cities that were destroyed for their sin along with Sodom and Gomorrah in the book of Genesis. Those people were never God's people, but to have to deliver the same punishment on his own people broke God's heart, so the punishment was tempered or limited in its extent by his compassion and love towards his people. He continues in verse 9. <sup>9</sup> I will not execute my burning anger; I will not again destroy Ephraim; for I am God and not a man, the Holy One in your midst, and I will not come in wrath. God will not execute his wrath against the people of Israel in the same way that he destroyed Admah and Zeboiim. Why would he save some and destroy others? The answer is right here. I am God and not a man... To ask the question why doesn't God save everyone is not the right question. Instead we should be asking why does God save anyone...and why did God choose to save me? Israel deserved the same destruction as those other cities, but God showed mercy, and still never violated his holiness. He remained holy in their presence. God's presence never left his people even in punishment. One day God would bring a holy one to the people of Israel as a gift not only to them but to the world. Verse 9 pictures the truth that Jesus Christ is truly the holy one in the midst of our humanity. He gave up Heaven above to come down to earth, and put aside some of what it meant to be God. He came not in wrath, but to lay down his life out of love so that God could pardon those he chose for salvation. It is because of Jesus that when God chooses or predestines or calls us to salvation that we can respond. We don't deserve to be chosen for salvation. This holy one, Jesus, would live a completely righteous sin free life and eventually die on a cross and take all of God's wrath on himself. We call this a big theological word propitiation which simply means that Jesus turns away the wrath of God by taking the punishment on himself. You are probably familiar with Romans 3:23, but listen to the whole passage of [Romans 3:23-25 which talks about this. 23 for all have sinned and fall short of the glory of God, 24 and are justified by his grace as a gift, through the redemption that is in Christ Jesus, 25 whom God put forward as a propitiation by his blood, to be received by faith. This was to show God's righteousness, because in his divine forbearance he had passed over former sins.](#) God can pass over or forgive our sins because of Jesus Christ, God the Son, taking the punishment for that sin by shedding his blood and dying for us.

That truth of God's wrath being set aside through the actions of God himself makes it possible for us to experience fully the love of God. Even as sinners, we can approach a completely holy God who has set aside his wrath against our sin. This will be the future response of God's people Israel and of all God's future people including us. Look at the last two verses, 10-11. <sup>10</sup> They shall go after the Lord; he will roar like a lion; when he roars, his children shall come trembling from the west; <sup>11</sup> they shall come trembling like birds from Egypt, and like doves from the land of Assyria, and I will return them to their homes, declares the Lord. This removal from their land to Assyria will not last forever. God in his love and compassion cannot bear to permanently displace his people. Eventually the people of Israel are restored to their land and return which we see in the books of Ezra and Nehemiah in the Old Testament. Just as the people of Israel respond to God's call to return, we respond to God's work and God's call to salvation. But notice what that response is like. They come trembling like doves. God is roaring his call and those who are his own will respond, but our response to God's powerful call is humble obedience. God does not owe us

his love. We deserve the punishment for our sin that we have committed against him. So, why would God do this for us? Why would he love us in this way, by taking us up in his arms and healing us and wrapping us in his cords of love? How would he even do this, given the depth and extent of our sin?

In the gospel of [Matthew Chapter 2, verses 13-15](#) we find a quote from this passage in Hosea. [When they had gone, an angel of the Lord appeared to Joseph in a dream. "Get up," he said, "take the child and his mother and escape to Egypt. Stay there until I tell you, for Herod is going to search for the child to kill him."](#) 14 So he got up, took the child and his mother during the night and left for Egypt, 15 where he stayed until the death of Herod. [And so was fulfilled what the Lord had said through the prophet: "Out of Egypt I called my son."](#) This short quote, [Out of Egypt I called my son...](#) shows us the true beauty of God's love. The focus and the depth of God's love is found in the person of Jesus Christ. At first, it is very difficult to see the connection between a reference in Hosea to God bringing the people of Israel out of Egypt and Matthew using this as a prophecy speaking about Jesus Christ. But when you see the overall theme of Matthew's gospel, he is showing Jewish people that Jesus is the new and better Israel. Matthew retells Israel's story, but he puts Jesus right in the middle as the main character. Jesus as God the Son was there with them all along, and everything about the nation of Israel and Israel's story was leading to the better Israel, the Messiah, Jesus Christ himself. Jesus Christ is the fullest expression of God's incredible love. [John 3:16 says, 16 "For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.](#)

All of us have sinned completely, whether we want to admit it or not, we have rejected our creator and worshipped idols in so many ways we can't begin to understand the extent of our failure. But the greatest love in the world is seen in the fact that God is calling out to you offering his grace, his forgiveness for your sin. If you have not accepted Jesus Christ as your Lord and Savior, then you are still facing the wrath of God against your sin, but God is today extending his love towards you. He is calling to you loudly to come to him and let him receive you as his child, and love you with a love that accepts you completely and forgives you fully. And to those of us who know Jesus Christ, this message is for us as well. We have not all of a sudden stopped all our rejection of God's love. Like the people of Israel, we need to recognize that everything that happens in our lives is a result of God's love for us. Even his discipline, whether it is punishment or simply hardship that he is using for our good to bring glory to him. Maybe today you need to preach the gospel to yourself. By that I mean reminding yourself that as a follower of Christ, God has called you his child and has wrapped you in his love. I want to close by focusing on this picture. Of course, it is a picture of a parent hugging a child. I want you to know today that this is the same beauty of God's love that we find in Jesus Christ. He is embracing you as your Father with arms of love and his grace of forgiveness. If you need to, will you respond by returning to his loving embrace or respond in thanksgiving for this love that God has displayed for you through Jesus Christ. Let's pray.